

フォトロン

<映像制作 / 放送関連機材部門>ホール6 : 6113

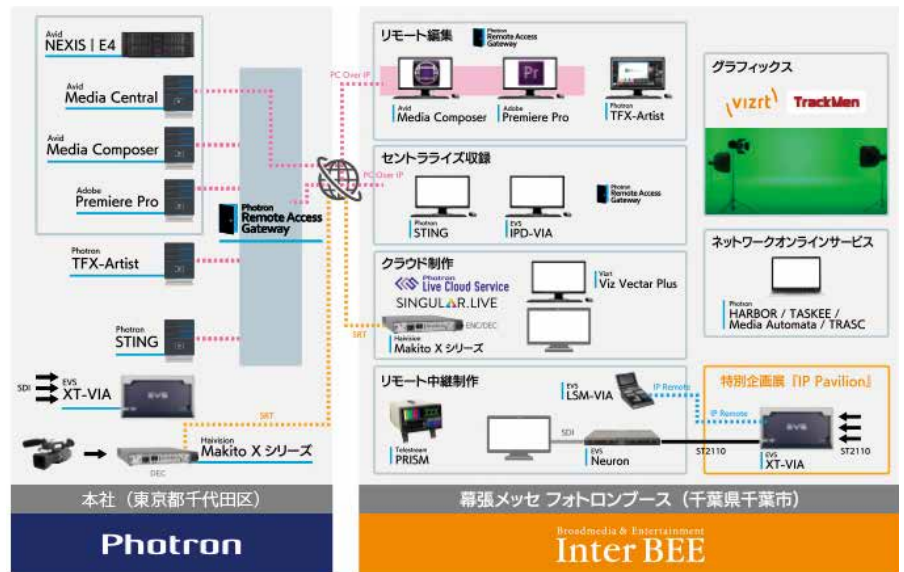


出展コンセプト

フォトロンブースでは、《To the Next Standard》をコンセプトに、リモート環境とシステム集約化による、映像制作における新たな業界標準となる "The NEXT" ワークフローをご提案する。

昨今急速に関心が高まっているリモート編集やリモート制作、そして効率的なシステム運用を実現するセントラライズ収録システムを展示します。フォトロン本社（東京都千代田区）と InterBEE2021 会場（幕張メッセ / 千葉県千葉市）をインターネット接続し、リモートオペレーションによるワークフローを実機にて体験できる。

また、同時開催の特別企画展『InterBEE IP Pavilion（以下、IP Pavilion）』への参加も予定しており、ここでは、IPをメインに構築した最先端のテクノロジーがみられる。『IP Pavilion』に設置した EVS 社ハ



フォトロン本社 / InterBEE2021 会場 リモートワークフローイメージ図

イエンドライブプロダクションサーバ「XT-VIA」と、フォトロンブースの EVS 社最新リモコン「LSM-VIA」を IP 接続し、フォトロン独自のリモートライブプロダクションを提案する。

その他、XR ライブシステム、クラウドベースコンテンツ管理サービス、AI 自動文字起こしサービス等、フォトロンならではのユニークなソリューションやサービスを幅広く紹介する。

出展内容

- リモート編集ゾーン
- セントラライズ収録ゾーン
- クラウド制作ゾーン
- リモート中継制作ゾーン
- グラフィックスゾーン
- ネットワークオンラインサービスゾーン

EIZO

<映像制作 / 放送関連機材部門>ホール6 : 6111

出展製品

- ColorEdge PROMINENCE CG3146 **New**
- ColorEdge CG319X
- ColorEdge CS2740-X **New**
- FlexScan EV3895 **New**

【CG3146 初の実機展示！】 Inter BEE 2021 に初出展

2020年6月に発売したCG3146は「Inter BEE 2021」が初の展示会での実機展示となる。ぜひ会場で EIZO の HDR を体感！

▼ EIZO ブースの見どころは >>>

<http://infomail.eizo.co.jp/?c=1120&m=179606&v=fdec1562>

編集用モニターとして 37.5 型ウルトラワイド曲面モニター EV3895、制作しながら HDR プレビューができる 4K27 型 CS2740-X の実機も初展示する。

▼ FlexScan EV3895 の詳細は >>>

<http://infomail.eizo.co.jp/?c=1121&m=179606&v=1af1b3f5>



▼ ColorEdge CS2740-X の詳細は >>>
<http://infomail.eizo.co.jp/?c=1122&m=179606&v=e8a65e0d>

EIZO ブースでは、マスク着用、手指の消毒などの感染症対策を実施の上、お客様をお迎えいたします。スタッフ一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております！

InterBEE 2021 に出展し、同社の各種大型映像表示機器製品を展示し、デモを行う。

世界的なビジュアライゼーションテクノロジーメーカーのバルコ株式会社（本社：東京 代表取締役社長：加藤 浩典、以下「バルコ」）は、最先端のRGB プロジェクターである XDM プロジェクターと XDX プロジェクターを上市した。XDM および XDX プロジェクターは、Rec.2020 の色域、ネイティブ 4K 解像度と優れたパフォーマンスにより、テーマパークなどでよりインパクトのある体験を可能とした。



XDM 及び XDX プロジェクター

■ハリウッドからテーマパークまで

バルコのエンターテインメントプロダクトマネージャーの Koen VanBelle は、「XDM と XDX プロジェクターにより、市場をリードするシネマプロジェクターの強みを活かして、高度なカラーパフォーマンスとハリウッドにふさわしいレベルの映像を、テーマパークやその他のエンターテインメント用途にもたらしました」と説明している。

RGB レーザー光源はより広い色域を可能にし、Rec.2020 の特別なコンテンツを上映するために並外れた画像の忠実度やさらなるカラーパンチが必要とされるようなアプリケーションに最適。加えて、これらのプロジェクターは、コンテンツ制作業界でますます需要が高まっているハイフレームレート（HFR）やハイダイナミックレンジ（HDR）関連で日々進歩している技術標準を最大限に活用している。また、バルコが特許出願中の Colorgenic™ 技術により、XDM と XDX プロジェクターは

Rec.2020 のコンテンツを表示している際にも高い輝度レベルを維持するとしている。

■高い投資効果を実現するコスト効率のよい設計

映画館とライブイベント業界で要求される厳しいパフォーマンスとサービス基準に関するノウハウに基づいて構築された XDM および XDX プロジェクターは、ロケーションベースのエンターテインメント会場の所有者や運営者を最優先に考えている。これらのプロジェクターは、必要最小限のメンテナンスで長期間にわたって比類のない一貫性と精度を提供する。高品質のコンポーネントの選択と最適化された冷却を含む優れたシャーシ設計により、最大 40,000 時間のレーザー寿命を実現する。密閉された光学系と極めて優れたモジュール性、そして光源自体の個々のレーザープレートに至るまで、他の追従を許さないプロジェクター稼働時間を可能にする。

バルコの UDM や UDX プロジェクターと同様に、これらの新しい製品は、リモートでの状態監視を備えたクラウドベースのプロジェクター管理プラットフォームで管理でき、24 時間年中無休の稼働時間を視野に入れ、設置の信頼性を高める。

XDM と XDX は、ROI の向上をサポートする柔軟性を備えて設計されている。超短焦点の 0.38:1 から長焦点の 11:1 までの比率で、合計 14 段階の高輝度と 5 段階の高コントラストのバリエーションを含む幅広いレンズオプションを提供する。

■サステナブルエンジニアリング

よりサステナブルな製品製造における、バルコの継続的な環境に配慮した取り組みに関しては、XDM と XDX も例外ではない。耐久性の高いプロジェクターデザイン、スマートな素材の選択、業界をリードするエネルギー効率により、同社の ISO14021 準拠のエコスコアリング手法に基づき、これらのプロジェクターには A スコアが与えられた。

バルコのエンターテインメントビジネスのシニアバイスプレジデントである Nicolas Vanden Abeele は、次のように述べている。「バルコのプロジェクターは、映画館、イベント業者、美術館などのオーナーが不可能を可能にすることをお手伝い



XDM-4K25 プロジェクター



XDX-4K40 プロジェクター

できる、レーザープロジェクションの世界におけるゲームチェンジャーです。XDM と XDX プロジェクターは、その伝統を継承しています。プラネタリウムやダークライドなど、あらゆる種類の没入型体験を提供する場合、これらのプロジェクターは、訪問者がより多くのことを求めて戻ってくるような格別な体験と瞬間を作り出すことに貢献します。」

< 製品詳細 >

<https://www.barco.com/ja/product/xdm-4k25>

<https://www.barco.com/ja/product/xdx-4k40>

バルコについて

バルコは 1934 年にベルギーで創業（日本法人であるバルコ株式会社は 1995 年設立）しました。その歴史はラジオの製造から始まり、現在ではディスプレイ技術、プロジェクション技術、コラボレーション技術を核に、主にエンターテインメント、ヘルスケア、エンタープライズ向けに可視化ソリューションを開発、設計しているグローバルなテクノロジー企業です。現在では 90 か国以上に販売拠点をもち、2020 年の連結総売上げは 770M ユーロを超え、従業員約 3,300 名、430 を超える特許を取得しています。

本件に関する問い合わせ先

バルコ PR 事務局 担当：倉澤・佐藤・中根・

藤田 TEL:03-5572-7375

FAX:03-6685-5265/

E-mail:barco@vectorinc.co.jp

パナソニック「Inter BEE 2021」にリアル・オンラインのハイブリッドで出展

-KAIROS を軸にコンテンツ制作現場の「撮る・創る・映す」を変革するリモートプロダクションをご提案-

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社（本社：東京都中央区、社長：樋口 泰行）およびパナソニックシステムソリューションズ ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：片倉 達夫、以下両社でパナソニック、2022年4月より両社はパナソニック コネクト株式会社に変わります。）は、2021年11月17日（水）～19日（金）に幕張メッセで開催されるメディア総合イベント「Inter BEE 2021」のリアル展示会と2021年11月17日（水）～12月17日（金）に開催されるオンライン展示会に出展します。

放送業界では、人手不足や属人性が課題となる一方で、ネット配信等の制作コンテンツの増加やコロナ禍におけるリモートでのコンテンツ制作のニーズが増加しており、業界における「働き方の改革」が急務となっています。

パナソニックは、「IT/IP プラットフォーム “KAIROS”（ケイロス）」を軸にコンテンツ制作現場の「撮る・創る・映す」を変革するリモートプロダクションを提案し、放送業界に貢献してきた60年以上のノウハウと合わせ、コンテンツ制作現場の課題解決を目指しています。

本展示会では、映像制作 / 放送関連機材部門とプロオーディオ部門に出展し、新たなワークフローを実現するパナソニックの最新ソリューションをご提案します。

<映像制作 / 放送関連機材部門>

「LIVE IP × リモートプロダクション」により、お客様のワークスタイルに合わせた新たな価値創出をサポート

ホール 6 に出展する映像制作 / 放送関連機材部門ブースでは、「制作現場を変える LIVE IP × リモートプロダクション」をテーマに、リモートプロダクションを活用したボウリング対戦のライブ配信実演や、KAIROS、カメラシステムソリューション、ライティングソリューションなど LIVE IP を支える最新のソリューションを展示します。



「Inter BEE2021」パナソニックブース イメージ【ホール 6 内】

メインステージでは、SITE4D 様、公益社団法人 日本プロボウリング協会様で協力のもと、リモートプロダクションを活用したボウリング対戦をライブで実演します（※1）。

KAIROS の特長を活かした「多彩な映像演出」と KAIROS やリモートカメラの活用による「業務効率化」により、遠隔地間でのスポーツのリモート対戦等、様々な配信を「LIVE IP × リモートプロダクション」で実現します。

KAIROS 出展ブースでは、KAIROS オンプレミスの活用事例や、2022年春より開始予定の KAIROS クラウドサービス（※2）を展示し、お客様の多様なニーズにお応えする最新の「IT/IP プラットフォーム」をご覧ください。

カメラシステムソリューションでは、リモートカメラの新ラインアップ 5 機種（※3）（4K インテグレートドカメラ（AW-UE80W/K、AW-UE50W/K、AW-UE40W/K、AW-UE20W/K）、HD インテグレートドカメラ（AW-HE20W/K））を展示。各機種それぞれ機能が異なる多彩なラインアップで、お客様のご要望に合う最適な機種を選んでいただけます。また、スタジオカメラやライブスイッチャーの新

たな使い方もご紹介します。

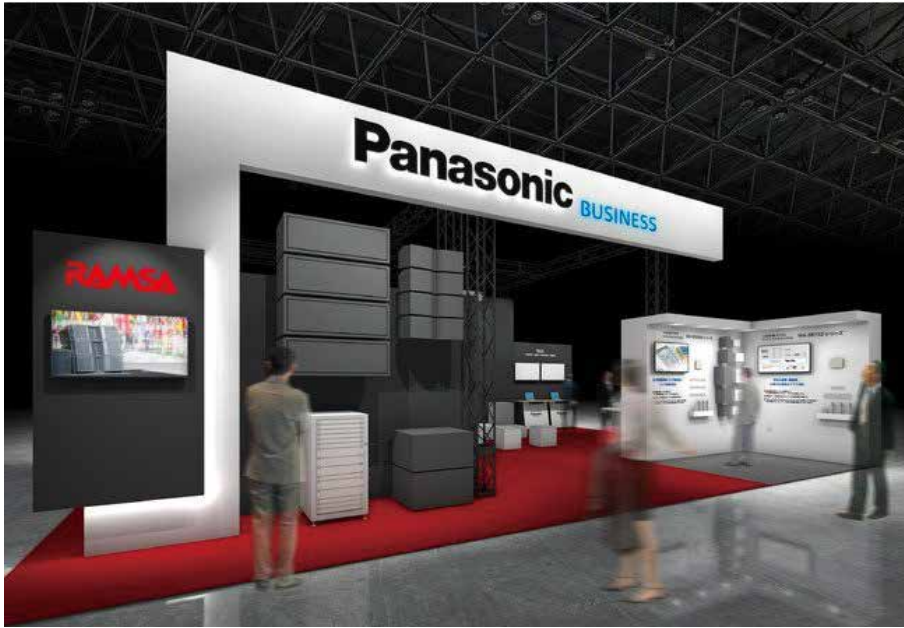
その他にも最新のスタジオライティングや、ドローンソリューション、5G ゲートウェイ等、パナソニックの多様なソリューションを展示し、「パナソニックのリモートプロダクション」に最大の付加価値をプラスしてご提案します。

<プロオーディオ部門>

設備音響に求められる音作りの最適化をテーマにシーンごとに最適なサウンドソリューションを展開

ホール 5 に出展するプロオーディオ部門ブースでは、「設備音響に求められる音作りの最適化」をテーマに、RAMSA プロダクトとワイヤレスマイクロシステムを中心とした展示を行います。

長年培ってきた開発力と現場力を活かし、さらに進化を続ける RAMSA からは、大規模空間の音場を支える大型ラインアレイスピーカー WS-LA4WP を展示。スタジアムクラスの大きな空間で活用される本機をブースにて紹介します。また、今年発売したポイントソーススピーカー WS-HM5000 Series や、高音質 96KHz 運用を実現するデジタルミキサー WR-DX350 も展示。多様な音作りをサポートするスピーカーと



【Inter BEE2021】パナソニックブース イメージ【ホール5内】

【出展内容】

<映像制作 / 放送関連機材部門 ホール6 >

出展コンセプト：制作現場を変える LIVE IP × リモートプロダクション

■LIVE IPソリューション

- ・ KAIROS (オンプレミス・クラウドサービス)
- ・ 低遅延映像配信システム
- ・ ドローンソリューション
- ・ 5G ゲートウェイ

■カメラシステムソリューション

- ・ AR 映像プロダクションシステム
- ・ 4K/HD インテグレートドカメラ
- ・ スタジオカメラ
- ・ ライブスイッチャー
- ・ NDI I/F ユニット

■ライティングソリューション

- ・ 最新スタジオ調光卓ライトミキサー SNW
- ・ LED 照明機材

<プロオーディオ部門 ホール5 >

出展コンセプト：設備音響に求められる音作りの最適化

- ・ RAMSA ラインアレイスピーカー
- ・ RAMSA ポイントソーススピーカー
- ・ RAMSA デジタルミキサー
- ・ RAMSA 電源制御ユニット
- ・ 1.9GHz 帯デジタルワイヤレスマイクシステム

【関連情報】

・ Inter BEE2021 パナソニックブース特設サイト

<https://biz.panasonic.com/jp-ja/events/interbee2021>

・ パナソニック ビジネスソリューションサイト

<https://biz.panasonic.com/jp-ja/>

【問い合わせ先】

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話：0120-878-410 (受付：9時～17時30分<土・日・祝日は受付のみ>)

して小規模空間に適した高音質 2WAY 方式のニアフィールドスピーカーシリーズもブースでご覧いただける貴重な機会となります。

ワイヤレスコーナーでは、WX-SR200ASeries を中心とした 1.9GHz 帯デジタルワイヤレスマイクシステムを展示。新ラインアップ商品の展示も予定しており、いち早くご覧いただけます。

パナソニックはコンテンツ制作現場のイノベーションパートナーとして、「撮る・創る・映す」の業務プロセスを変革し、お客様の経営課題の解決に貢献していきます。ぜひパナソニックブースに来場ください。

※1 JPBA (公益社団法人 日本プロボウリング協会) は、これまでにないプロスポーツリーグの在り方を追求することを目的とし、最新テクノロジーを積極的に活用した男女ブ口融合チームの新トップリーグを構想中です



※2 KAIROS クラウドサービス プレスリリース (2021年10月26日発表)

<https://news.panasonic.com/jp/press/data/2021/10/jn211026-1/jn211026-1.html>

※3 リモートカメラ新ラインアップ5機種 プレスリリース (2021年10月12日発表)



<https://news.panasonic.com/jp/press/data/2021/10/jn211012-1/jn211012-1.html>

【Inter BEE 2021 概要】

<会場・会期>

■幕張メッセ会場

2021年11月17日(水) 10:00～17:30

2021年11月18日(木) 10:00～17:30

2021年11月19日(金) 10:00～17:00

■オンライン

2021年11月17日(水)～12月17日(金)

<入場> 無料 (全来場者登録入場制)

<主催>

一般社団法人 電子情報技術産業協会

【パナソニック オンライン展示会ページ】

・ 映像制作 / 放送関連機材部門



https://www.inter-bee.com/ja/forvisitors/exhibitor_info/detail/?id=364
・ プロオーディオ部門



https://www.inter-bee.com/ja/forvisitors/exhibitor_info/detail/?id=420